

平和行進活動交流ニュース

発行:原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局

2015年
5月7日
No.3

電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com

被爆70年 平和行進スタート!



2015年原水爆禁止国民平和行進の東京—広島コースが5月6日、江東区夢の島の第五福竜丸展示館前から出発しました。同日、北海道—東京コースも礼文島からスタートしました。(詳細別紙)

夢の島では、オープニングイベントでうたごえのみなさんによる歌や沖縄—長崎コースを通し行進する山内金久さんと松平晃さんによるトランペット演奏、江東区職員労働組合の中村隆さんからは第五福竜丸の保存運動が語られました。

日本原水協個人理事で公益財団法人第五福竜丸平和協会代表理事の川崎昭一郎さん、日本原水爆被害者団体協議会事務局次長の児玉三智子さん、日本山妙法寺の木津博充上人が連帯あいさつをおこないました。日本青年団協議会からの連帯メッセージを司会が代読しました。

【広島へ 長崎へ ニューヨークからリレートーク】のコーナーでは、東京都原爆被害者団体協議会(東友会)代表理事の大岩孝平さんに続き、日本自治体労働組合総連合委員長代行の猿橋均さん、新日本婦人の会副会長の西川香子さんがNPT・ニューヨーク行動の報告をおこないました。

福島から駆けつけた阿部萌夏さんと沖縄出身の元山仁士郎さんがそれぞれ等身大の訴え。国際青年リレー行進で東京—神奈川間を歩くフィリピンのヴォルティモア・フェニスさんが決意表明し、Ring! Link! Zero 実行委員会が国際青年リレー行進への参加の呼びかけ



と激励メッセージ&エール交換。最後に東京—広島コース通し行進者の山口逸郎さん、松永洋子さん、

沖縄—長崎コース通し行進者の山内金久さん、わかやま市民生協リレー行進者の原井一成さんが決意を述べました。

850人で夢の島を出発した行進団は、先頭をサウンドカーが賑やかに走り、労働組合の列でも子どものコールや、リズムにノットしたコール、そして4つの隊列すべてでおこなったりレトークでは、福島から来てくれた阿部さんの胸に迫る思いのこもったスピーチに、沿道で歩いている人も足を止めて聞いていたり、頷いている人がありました。「核に依存し続けていいのか？一緒に考えましょう」との呼びかけには拍手が起きました。また、沖縄出身で基地撤去のたたかいを支援する学生のメンバーである元山さんは、沖縄の新基地建設や米軍基地射爆場で使われている劣化ウランのこと、基地なんかで経済が潤うことはない！と強調しました。



ニューヨーク行動に参加し、戦争のない平和な世界に賛同する海外の人の多さに感動したことや、

労働組合の方たちからの「命と暮らしを守ることは平和でなくては作れない」という思いなど、参加者からの思いを直に多くの人に伝えました。銀座からは青いたすきをかけた東京の被爆者20人以上が合流するなど1000人を超える参加者が核兵器なくそうと元気よくアピールしました。



5月22日まで開かれているNPT再検討会議の期間中はもちろん、8月の被爆70年 原水爆禁止2015年世界大会へ向け、核兵器全面禁止の世論を高めるために行動しましょう。

被爆者ととともに署名行動

平和行進と並行して東陽町駅前と有楽町マリオン前で「核兵器全面禁止のアピール」署名を集め、合計36人分、2000円の募金が集まりました。マリオン前には、東友会から山本英典さん、東條明子さんが参加し、被爆者の訴えをおこないました。

和歌山-広島コースは5月8日から全自治体を行進！

和歌山—広島コースは5月8日（金）17:30から新宮市役所第4別館前から出発します。

和歌山県原水協の白井春樹事務局長は、「被爆70年にふさわしく、和歌山県下すべての市町村（30自治体）で平和行進ができることになりました。ありがたいことです」と語っています。

和歌山県内平和行進コース・日程表→ <http://www.antiatom.org/upload/1429510273.pdf>

取り組み、経験をEメール: antiatom55@hotmail.com でお知らせください。